

非核・いしかわ

事務局/石川民医連労働組合気付
〒920-0848 金沢市京町 28-8 TEL076-251-0014
郵便振替口座 00760-0-15689 会報込年会費 3000円

非核五項目

- ① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

1面	安法案の廃案を求める石川県民大集会	4面	被爆ピアノコンサート	横山加奈子	7面	「独標」：未来に	高久晴美
2面	羽咋市、宝達志水町、能登町が平和首長会議に加盟		2015年日本平和大会・予告			創作詩：雪合戦	斉藤節子
3面	原水禁世界大会・国際会議報告 白崎良明	5面	会員リレーエッセー		8面	被爆者が描いた体験画展	中田喜重
4面	国連・核廃絶デー記念講演会・予告		教科書採択に異議あり	尾西洋子		絵手紙コーナー	竹味恭子
			まさに、戦争前夜だ！	永山孝一		非核平和・行事予定	

8・30安法案の廃案を求める 石川県民大集会

「アベ政治を許さない」

「戦争法反対！憲法改悪阻止！」を呼びかける八団体が主催して、八月三〇日（日）午前一一時から金沢市・犀川桜橋河川敷で「安倍政治を許さず、安法案の廃案を求める石川県民大集会」が開かれ、一、八〇〇人（主催者発表）の参加があった。

九条の会・石川ネット呼びかけ人の岩淵正明氏が主催者挨拶を行った。

「安法案には日本弁護士連合会はじめ、全国一〇八の大学でも反対声



集会後、半身ずぶ濡れも構わず、
気迫のデモ行進

明を出し、安法案に反対する学者の会への賛同者も広がっている。元最高裁判事、元裁判官、元内閣法制局長官など憲法にかかわる大多数の人々が「違憲」と批判している。安倍内閣は衆議院で安法案を強行可決し、参議院でも九月中旬に強行可決を目指している。憲法を無視し、国民の声を無視することは独裁政治であり、憲法に対するクーデターだ。本日は国会周辺の一〇万人集会ははじめ、全国二〇〇カ所以上で一〇〇万人の集会、抗議行動が開かれている。このような大きな国民運動を背景に安法案を廃案に追い込むため、県内でも最大限の努力をしよう」

戦争になってから戦争に反対することは困難である

戦争をさせない石川の会代表の蒔昭三氏は、「戦後七〇年、国の在り方が危機に直面しており、全国各地で各界、世代を超えて安法案の反対運動に立ちあがっている。戦争体験者の先輩から『戦争になってから戦争に反対

花鳥風月

前号の原水爆禁止世界大会報告で「広島カープと八月六日」のことに触れた▼会報「非核・いしかわ」を読んだ友人から岐阜新聞八月一九日号に

掲載された、元大リーガーで野球解説者田口壮さんのコラムを送ってきた▼田口さんは胸に「PEACE」背番号「86」のユニホームを着た八月六日の『ピースナイター』のことで「被爆した方々が高齢となり生の体験を伝えられる人が少なくなっている今、考えると意義のある取り組みだと思ふ。球場に来た人や中継を見た人だけでなく、ニュースを見る人まで含めると数千万の人が、平和を考え、見つめ直す、きっかけになれば」と願い、原爆投下の日を知らない若い世代が増えていく今、多くの人にメッセージを伝える力を持つ野球界に課せられた重要な役目です。と書いている▼米大リーグでも四月一五日、全選手が42番の背番号をつけてプレーする日がある。人種差別で長い苦難の道を歩み、そこから這い上がったアフリカ系米国人ジャッキー・ロビンソンがデビューした敬意の日として▼田口さんは被爆を体験した我が国が世界に向けて核兵器の悲惨さを訴えていくことが日本の役割とするなら、日本のプロ野球界全体で『ピースナイター』を考えることを主張されている（平）

するのは非常に困難である』と教えられた。安保法案が通れば元に戻れない」と強調した。

人権は平和の下でこそ守るべき

金沢弁護士会会長の西村依子氏は、「戦争は最大の人権侵害であり、人権は平和の下でこそ守ることができ。今般、国会に提出された安全保障法制を改変する法案は、憲法上許されない集団的自衛権を容認するものであり、憲法第九条に真つ向から違反する(二〇一五年五月二十九日、日本弁護士連合会決議)を紹介し、「金沢弁護士会は立憲主義と人権擁護の立場から安保法案に断固反対する。法案の廃案に向け共にがんばりましょう」と連帯の挨拶があった。

「だれの子どもも(こども)を(こ)わ(せ)ない」

安保関連法案に反対するママの会から三家族のママと子ども達の訴えがあった。「安保法案が衆議院で強行採択された七月一五日、私たちママ友は今後どうすればよいか、話し合った。地元の議員に直接私たちの声を届けようと呼びかけ、四歳から八四歳まで一八六人の人たちからメッセージが寄せられた。意見欄には『安保法案に反対』とともに、『国民の意見を無視

しない』という声がたくさんあった。安倍政権は民主主義、基本的人権をないがしろにしている。言葉によって人間が獲得した大事な表現力を国の圧力によって奪われてはいけない。キチンと言いたいことは自分の言葉で伝える。一人ひとりがこうした行動をとれば、本当の意味で民主主義が実現できると思う。ママの会は、『だれの子どもも ころさせない』ため、これからも地元議員との対話を続けていく」

「アベ政治を許さない」

北陸SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)を発足させるため活躍している高岡市の高校生や青年法律家協会北陸支部、県平和運動センターからの訴えもあり、土砂降りの集会だったが、「アベにも負けず」「アベ政治を許さない」集会参加者の決意を固めることができた。

参議院で審議中の安保法案が九月一四日の週に自公政権が強行採決する動きが出てきたため、一二日、金沢弁護士会の「STOP!安保法案」市民集会に六〇〇人、同日若者たちのサウンドパレードに二五〇人、また一四日の「戦争法案 採決するな!」緊急集会に八〇〇人の参加で抗議行動が連続して行われた。

羽咋市、宝達志水町、能登町が平和首長会議に加盟

平和首長会議ホームページの九月一日付新着情報に羽咋市(山辺芳宣市長)、宝達志水町(津田達町長)、能登町(持木一茂町長)など「新たに四三自治体が平和首長会議のメンバーに加わりました」「これにより、加盟都市数は世界一六一か国・地域六、八二〇都市となりました」と掲載されました。

国内での平和首長会議加盟は左表のように九一・二%に達しています。

平和首長会議への国内自治体加盟状況 (2015年9月1日現在)			
【国内自治体の加盟状況】			
区分	総数	加盟数	加入率
市	790	759	96.1%
東京23区	23	21	91.3%
町	745	650	87.2%
村	183	157	85.8%
計	1741	1587	91.2%

石川県での加盟は一四自治体となり、加入率は七三・七%になりました。引き続き、未加盟自治体における動向を注視していきましょう。

●加盟自治体〓金沢市、七尾市、珠洲市、羽咋市、白山市、かほく市、野々市市、内灘町、川北町、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町

●未加盟自治体〓小松市、輪島市、加賀市、能美市、穴水町

平和首長会議ホームページには、国内加盟自治体で計画されている「被爆七〇年記念事業」も紹介されています。
(国内加盟自治体における取組例)

- ・被爆体験講話
- ・被爆樹木植樹、平和の灯を活用した取組み

- ・被爆関連の資料や写真、パネル、ポスター、絵画の展示

- ・平和関連の映画・ビデオの上映会
- ・平和祈念式典

- ・平和コンサート
- ・小中高生の被爆地派遣、体験学習

- ・平和学習講座
- ・標語、作文、絵画コンクール

◆ ◆ ◆
本会が五月に実施した「二〇一五年度平和事業アンケート」では県内の加盟自治体のなかで「予算ゼロ、事業ゼロ」と回答されたところもありました。前記の(取組み例)を参照いただき、「被爆七〇年」に相応しい事業展開を期待しています。

原水爆禁止世界大会・国際会議にて

「はだしのゲン」英語版を
海外代表に七セット寄贈

白崎良明

原水爆禁止世界大会・国際会議には核兵器廃絶を求める世界からの活動家が集まるだろうから、その人たちに是非、「はだしのゲンをひろめる会」(以下、ひろめる会)の活動を知っていただき、外国への寄贈先の紹介をしてもらおうという目的で「ひろめる会」を代表して参加した。

八月二日午後から、国際会議開会総会・全体会議が行われたが、都合で八月三日、午前の全体会議からの参加となった。広島・長崎の原水爆禁止世界大会へ参加したことはあるが、国際会議は初めてである。事前に発言したいと申し出ていたが、返答もなく、全く、勝手がわからないままに不安を持つての参加だった。



はだしのゲンをひろめる会
のロゴマーク

今回の世界大会には海外から二〇ヶ国一四七名(六五団体、七国際・地域団体のNGO代表・個人および政府・国際機関代表八名)が参加しているが、国際会議には一〇〇名程度の参加であった。

八月三日午前の全体会議は「核兵器のない世界へ…核抑止論の克服、紛争の平和的解決、安全な暮らしと環境」をテーマに行われた。休憩時間に議長団から日本人の発言が少くないと言われたので、テーマの趣旨とそぐわないとは思いつながら、とりあえず、発言通告用紙を出したところ、全体会の最後に発言の機会が与えられた。

「ひろめる会」を代表してその活動の紹介と、海外への寄贈運動に参加者の協力を依頼した。核兵器廃絶運動の基本は核被害の実相を理解すること、被爆者の心情に共感することにあること、若い世代に運動を引き継ぐことの重要性を強調した。被爆者の証言活動は世界の核廃絶運動の中で大きな役割を果たしてきたが、被爆者の高齢化により、証言活動が難しくなっている中で、我々は漫画「はだしのゲン」に注目している。著者の中沢啓治は、「はだしのゲン」をとおして、世界中の若者がゲンの被爆体験を理解し、たくましく生き抜き、核兵器にノーとい

えるように期待していると紹介。

核戦争を防止する石川医師の会が行っている、県下の小中学校への「はだしのゲン」の寄贈運動、さらに、「はだしのゲン」を英語版、ロシア語版に翻訳した「プロジェクト・ゲン」などと共同でNPO法人「はだしのゲンをひろめる会」を設立し、今までに国連図書館はじめ、世界の三八施設・団体に寄贈してきたことを紹介した。最後に再び、寄贈先の希望と、紹介を寄せていただくよう述べて発言を終えた。

午後の分科会①は、事前の案内には「広島・長崎被爆の実相普及、被爆者のたたかひの継承」となっており、ここで発言準備をしていた。しかし、当日は「広島・長崎の原爆被害とヒバクシャのたたかひ」に変更され、躊躇もしたが、同様の発言を行った。分科会に参加していた日本原水協代表委員の斉藤紀さんは、「はだしのゲン」の役割の重要性について追加発言をされ、即、ひろめる会の賛助会員になられた。休憩時間、分科会終了後、翌日の全体会議前にも個別の申し入れと面談をうけ、オーストラリア、フィリピン、ネパールからの参加者に七セットを寄贈することになった。

条約再検討会議は最終文書を採用することはできなかったが、世論の運動の発展を反映して「核兵器のない世界」を求める声が多数を占め、核保有国を追い詰めた。「核兵器使用の人道的結果」についての共同声明にNPT締結国の八割をこえる一五九ヶ国が賛同するなど、人道的見地から核兵器禁止を求める声が広がり、核保有国もこれに「理解」を表明せざるを得なかった。圧倒的多数の世論で核兵器に固執する勢力を包囲し、「核兵器のない世界」への道を切り開こう。重要なことは「核抑止論」を打破することである。』と述べ、また、『核兵器禁止条約の交渉に反対、「核の傘」に依存し、核兵器使用を容認するなど被爆国にあるまじき態度をとる日本政府が戦争法案を強行しようとするのことに對して、空前のひろがりを見せている日本国民の運動、米軍の新基地建設に反対する沖縄のたたかひに連帯を表明』した。報告した富田宏治起草委員長は冒頭で「外国代表者を含めた起草委員会でまとまったのが、午前二時、私は不眠不休でまとめて、今、報告します。」と述べた。今まで、宣言文を読むだけであったが、その作成過程を知り、会議の重みを実感した。

(はだしのゲンをひろめる会理事)

国連・核廃絶デー記念講演会

「案内」

被爆の実相を胸に刻み

核廃絶の思いを新たにしよう

核戦争を防止する石川医師の会では九月二六日(土)、国連・核廃絶デー記念イベントを開催します。

国連は、二〇一三年九月二六日に国連総会史上初の「核軍縮に関するハイレベル会合」を開催したことになん

で、九月二六日を「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」と決めました。国連は、核兵器が人類に及ぼす脅威と核兵器の全面的廃絶の必要性について、国連加盟国、NGO、学术界、

国會議員、マスメディア、個人を含む市民社会の認識を高め、核廃絶に関する教育を充実させるために、この国際デーの普及を呼び掛けています。

石川反核医師の会では二〇一〇年より、ICAN (International campaign to abolition nuclear weapons) の呼びかけに応じて、毎年六月にNuclear Abolition Day (核兵器廃絶国際デー)を開催してきましたが、今年からは国連のこの呼びかけに賛同して、国連・核廃絶デーの記念イベントを開催することとしました。

このイベントの一環で開催する記念講演会について、国連広報センターに名義後援の依頼をしたところ、「国連・核廃絶デー記念講演会」のご成功をお祈り申し上げます」のメッセージとともに、後援承諾の文書をすぐいただくことができました。このほか、非核の政府を求める石川の会をはじめ、県内の反核・平和団体、地元のマスメディアからも名義後援の承諾が得られ、まさに、国連が提起している国際デーにふさわしい取り組みに近づいてきました。

今回、お話をお願いする西本多美子さん(石川県原爆被災者友の会会長)は四歳のときに広島で被爆されました。被爆者運動に関わられてからは、たくさんの方の被爆証言を読みこみ、断片的に残る自身の被爆体験をつなぎ合わせながら、証言活動をされている方です。また、被爆者の指定医療機関を増やす取り組みや、県内在住の被爆者の方の被爆者健康手帳の取得や原爆症認定のために奔走されてきました。

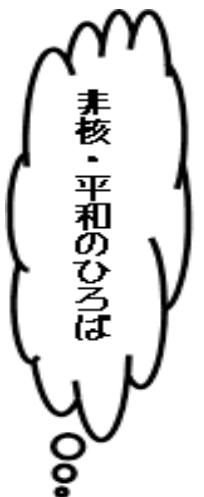
今年、人類史上初めて核兵器が広島・長崎に落とされて七〇年目に当たる年です。核兵器廃絶のために世界中の人々が行動を起こすこの日に、改めて被爆の実相を胸に刻み、核廃絶への

思いを新たにしませんか。子どもたちと全ての命あるものに、美しい地球を引き継ぐために。

講演会の前(一七時半)には、近江町市場前(エムザ口周辺)で、「核兵器の全面禁止」を求める署名運動「白衣の街頭キャンペーン」も開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

国連・核廃絶デー記念講演会 開催案内

お話 広島のパカ — たみちゃん4歳の記憶、そして被爆者運動へ
石川県原爆被災者友の会会長 西本多美子さん
日時 9月26日(土) 18:30~20:30
会場 金沢市近江町交流プラザ 4階集会室
主催 核戦争を防止する石川医師の会
後援 国際連合広報センター、石川県原爆被災者友の会、石川県生活協同組合連合会、石川県保険医協会、石川県民主医療機関連合会、NPO法人はだしのゲンをひろめる会、九条の会・石川医療者の会、生活協同組合コープいしかわ、非核の政府を求める石川の会



被爆ピアノコンサート

過去と現在と未来

横山加奈子

八月に入るとイベント尽くし。過去に思いを馳せ、今を感じ未来を見つめる機会が多くなります。

八月一日、石川県の海岸沿いの町、内灘で内灘憲法九条の会が、被爆ピアノのコンサートと被爆者の講演会を開催しました。

実は、私はピンチヒッターとしてピアノ弾きを本番二週間前に依頼されたのです。ちゃんと聴かせるピアノ演奏なんて、こころ以上もしてない



被爆ピアノの持ち主、矢川光則さんと一緒に (写真右)

けれど、迷うことなく「私ではなければ、ぜひ」と返事をしたのは、被爆ピアノだったからです。

矢川光則さんというピアノの調律師さんが、広島で被爆したピアノを蘇らせて、全国を回っているのですが、被爆ピアノが石川県に上陸するのは、なんと初！ 今回のピアノは大正九年に作られていて、アンティークのような優しいピアノで、鍵盤はなんと象牙。持ち主が弾き込んで、鍵盤が弾きやすい形に削れていました。指が吸い付くようで、とつても軽やか。そんな温かくてかわいくてしわくちなやおばあちゃんのようなピアノは広島島の爆心地から一・五kmの距離で被爆しました。ピアノの側面は、本棚があったところを除いてガラスの破片が刺さった跡でいっぱいになっていました。

いくつか唱歌を弾いたあと、ラベルの『亡き王女のためのパヴァーヌ』を弾きました。この曲自体にエピソードはほとんどないけれど、その曲調はどこか悲しくてでも美しくして少し光がさすような感じ。

まさに原爆で亡くなった方々が生きていたら、その後の光り輝く色とりどりの人生を送っていたらどうに、ということイメージして選び、演奏しました。

そうしたら、偶然にも被爆者の娘さんが病気で若くして亡くなられていて、そのことを重ねられ涙されていました。

過去はすぐそこにあって、今とつながっています。



弾き込まれた被爆ピアノの鍵盤

午後からは、病院の平和盆踊り。そして夜は、九月一二日に金沢で初めて音楽を用いて安非法制に反対するサウンドパレードの打ち合わせ。

私たちの未来は過去からつながっていて、いや、むしろ今は過去であり、未来であり、私たちはいつだって自由に私たちらしく生きていけるんだ、という思いを改めて抱きました。

さあ。今を精一杯生きる！

(城北病院後期研修医)

戦争への道NO！

今年の日本平和大会は

富士演習場の視察から始まる

日本平和大会は一〇月三十一日～一月一日、静岡県御殿場市で開かれます。

富士山麓でいま何が？

ここには『米軍キャンプ富士』と『東富士演習場』があり、山梨県の『北富士演習場』と一体で、米海兵隊の一五五mmりゅう弾砲実弾砲撃訓練や海外侵攻輸送機オスプレイなどの訓練拠点となっており、米軍と自衛隊が海外に『殴りこむ』戦争の訓練を繰り返しています。陸上自衛隊北富士駐屯地には、戦闘での殺傷状況をリアルに把握できる日本唯一の交戦訓練施設『富士トレーニングセンター』もおかれています。

富士を撃つな！

富士山は世界文化遺産に登録されましたが、基地の部分は除外。世界自然遺産に登録されなかったのは、自然を破壊する演習場のせいだと指摘されています。

地元住民は「富士を撃つな」と要求し「演習場の全面返還」を求め、不屈の闘いをしております。

今年の日本平和大会は、異常な富士演習場の視察から始まります。

沖繩と連帯・全国の運動交流

戦争への道NO！沖繩の美ら海守れ！オスプレイ・米軍基地NO！

全国各地、各分野で広がった戦争法反対のこれまでにない広がり運動を持ちより、安倍政権の暴走を止め、憲法の輝く平和で豊かな日本をどうしたらつくられるか、学びと交流の大会となります。

あなたのご参加を！

新ガイドラインの改定で安保が憲法を壊す情勢の中の日本平和大会に石川県の代表団に加わり、非核石川の会からも代表派遣をいたします。参加ご希望の方は事務局へご連絡下さい。

代表派遣費用の募金を

お願いします

たびたびのお願いで恐縮ですが、代表派遣費用募金のご協力をお願い申し上げます。

(非核の政府を求める石川の会

常任世話人会)

原水爆禁止世界大会代表募金のお礼

会報前号でお礼を申し上げましたが、その後も募金をいただきました。深様・四五、五〇〇円となりました。深くお礼申し上げます。

非核石川の会 リレーエッセイ

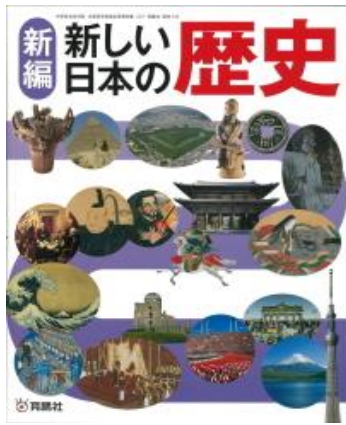
「日本は正しい戦争をやった」と思いこませる教科書を、子どもたちに渡せません

尾西洋子

石川県ではじめて、金沢市が『歴史』、小松・加賀両市は『歴史』と『公民』で育鵬社の教科書を採用し、来春中学一年から四年間、中学生の半分以上がこの教科書を使うこととなります。（全国では逆に東京大田区や今治市など四地区で、育鵬社をやめて他の教科書を採用されています。）

私は九月二日、金沢市・県教育委員会に採択の即時撤回、やり直しを求める七団体の申し入れに参加し、怒りで震えました。

「太平洋戦争をどうみるか」はあれこれの歴史観でなく戦後の日本と世界の出発点そのものです。日本の存立



育鵬社の歴史教科書

にかかわる問題であり、単なる教育問題ではありません。

この育鵬社の教科書を読んで初めに驚くのは、「日本がアメリカなどに追いつめられ、『自存自衛』のために戦争をした」です。

アメリカなどによる経済制裁を、日本の中国侵略への制裁という肝心な点を隠して教え、アジア解放のための戦争と偽り、日本軍が行った非人道的な侵略戦争によるふるまいも隠し、戦争への反省もGHQの強制だったと否定し憲法を押し付け憲法としています。これは他の教科書には皆無です。

政府の公式見解（一九八三年八月）「戦争の時代をどう教えるかについての歴史教科書に関する宮沢官房長官談話」にも反し、戦争する国を支える極右勢力が推進する異様な教科書です。

戦争は教育の右傾化とともに進められることは歴史の教訓です。国民を無謀な侵略戦争にかりたてた原動力は、戦前の軍国主義教育でした。

子どもたちの未来に再び繰り返させてはなりません。

第二次世界大戦でファシズムの側に立って侵略戦争を行った日・独・伊三国の中で「自分たちは正しい戦争をした」という教科書が、日本のように

問題となる国はありません。

誤った戦争認識、歴史認識を一掃し、侵略戦争を許さない国民的合意をつくることこそ教科書問題の核心であり、極右勢力による政治支配を終わらせるうえでのカナメの問題です。

「戦争できる国」にしないこれからの日本をつくる運動と一体のものとして国民的運動としていきましょう。

（本会常任世話人）

まさに 戦争前夜だ！

永山孝一

消費税を一〇％に増税したうえに「還付してほしいなら（年間四千円を限度）マイナンバー・カードで申請しろ」といわんばかりの政府——フェイブックでこんな記事を見て、これこそ国民生活を踏みこむ暴走だ！と怒っていたら、こんどはトンデモないニュースが飛び込んできた。

武器輸出「国家戦略」として推進すべき」経団連が提言——経団連は一〇日、武器など防衛装備品の輸出を「国家戦略」として推進すべきだ」とする提言を公表した。一〇月に発足する防衛装備庁に対し、戦闘機などの生産拡大に向けた協力を求めている。

（「朝日新聞」小林豪二〇一五年

九月一〇日）

提言では、審議中の安全保障関連法案が成立すれば、自衛隊の国際的な役割が拡大するとし、「防衛産業の役割は一層高まり、その基盤の維持・強化には中長期的な展望が必要」と指摘。

防衛装備庁に対し、「適正な予算確保」や人員充実のほか、装備品の調達や生産、輸出の促進を求めた。具体的には、自衛隊向けに製造する戦闘機F三五について「他国向けの製造への参画を目指すべきだ」とし、豪州が発注する潜水艦も、受注に向けて「官民の連携」を求めた。産業界としても、国際競争力を強め、各社が連携して装備品の販売戦略を展開していくという。

「個人の意見ならありうるが、その団体（経団連）の発表なら日本国憲法を踏みこむものだ！」と感じたが、よく読んでみると「官民の連携を求め経団連の提言」だった。いま国会の審議で、安保法制の正当性について答弁不能な状況にありながら、多数を嵩にこうした『提言』が報道される。——原産輸出の上に武器輸出。この状況こそ国民を愚弄した暴走以外の何物でもない。まさに戦争前夜だ！

（本会常任世話人）

詩人会議かなざわ「独標」より

あした
未来に

高久晴美

握りしめた手から
こぼれ落ちる何かは
過去も未来も同じなのか

原発反対の声が

少しづつ小さくなってゆく
イルカが大量に打ち上げられ
声を上げて死んでゆく
株価が上がってゆく

どうしてかわからぬままに

世界中で毎日、毎日、

血が流される

人類は

何処に向う

だけど私は生きていて
ランドセルに目を細め
土筆にときめき
桜に涙する

晴れた日には

大きく背のびして

雨の日には

傘をさせばいい

そして

夕食のおかずにも悩む

その日が来る迄

息をする

その日が来る迄

薄っぺらくても

言葉を紡ぐ

.....

◎次の創作詩は九月六日、野々市フ
オルテで開かれた「ピース9フェス
ティバル」の展示部門の作品です。
作者の了解を得ましたので本紙に掲
載します。

雪合戦

金沢市民劇場 斉藤節子

雪合戦しとつて

もつぱら敵陣へ

玉を投げる係と

後ろの囲いの中で

雪玉作るだけの

私みたいな者もいる

相手が 玉で攻撃して来る時

投げる者だけねらっとるか？

玉作って供給するモンも

敵やろ

実際 玉飛んで来るわいね

ちよっと顔出したとこ

バシッと当てられることもある

玉供給係の後方支援に

安全を配慮するって

どんなん？

敵からみたら

ぜくんぶ 憎らしいげんよ

そんな子ども

だましみたいなこと

言わんといて

やらんといて！

させんといて！

《編集室より》

◎今号の編集会議は戦争法案審議の

まさに山場で開かれた。読者に届く頃

には会期からして何らかの決着があ

いていよう。つい先日のNスペ「与野

党一〇党代表緊急討論九〇分」を録画

で見た。録画は聞き取れなかった部分

を捲き戻して確認できる。熱い議論と

なるのは問題の重大さのためである。

すり替え、頬かむり、誹謗が歯がゆい。

国会周辺で連日、万人規模の大集会

が開かれているが、県内の金沢弁護士

会主催の集会でも市民八団体の集会

でも過去に例のない人数が集まって

いる。いずれも法案成立への危機感の

反映であるのは明らかだ。

要は法案の内容だが、国会審議を通

じて、①憲法違反、②国民の理解が得

られず、③自衛隊中枢が暴走している、

という点がはっきりした。公聴会で憲

法学者全員が違憲だと指摘しても無

視し、国会に一二万人が押し寄せても

意に介さず、自衛隊内部文書が暴露さ

れても挙句「同一の文書は存在しない」

「討論記録はある」と言い逃れ、元最

高裁長官が「違憲」と指摘しても「今

や一人」という始末。自分の言い分

をムリヤリ押し付けるのは独裁であ

る。こんな政権が核兵器に関わらない

保証は全くない。

「権力は腐敗」し、解釈はやがてエ

スカレートするものである。「少しな

ら：」という甘さが、いくさの火種

となる。歌「ヒロシマの有る国で」

のなかで♪しなければならぬこと

は／ともるいくさの火種を／消すこ

とだろう♪と歌われるが、まさに現実

であり、万感胸に迫るものがある。

緊迫した情勢の中で緊急に開催さ

れた夜デモの日、私は石川県立音楽堂

で「池辺晋一郎さんと森村誠一さんの

対談」が重なり事情でこちらに参加し

た。社会的意識の高い両者の対談は聴

きごたえがあった。また今月の「ピー

ス9フェスティバル」では笠木透さん

を偲んで沢山の人間賛歌を歌った。こ

れもまた憲法九条のもたらす恩恵で

ある。『平和』の名でいくさに手を染

めることが、あってはならない。(中)

「被爆者が描いた体験画展」⑫

石川県原爆被災者友の会 中田喜重

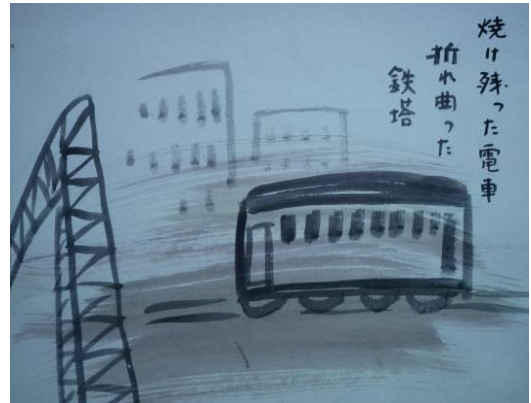
「暗黒の中の太陽」
八月六日 午前八時十五分
晴天の広島市



閃光が走り、一瞬に暗黒の街と化した。どうやって屋外に出たか、今も解明することができない。何も見えない。しばらくして空にどす黒い血のような太陽を見ることができた。時間が経つにつれ、この世の生き地獄の始まりを知ることになった。

◎この「被爆者が描いた体験画展」の絵は、一九七七年七月金沢市内で開かれた展示会の折りに、中田喜重さんが撮影され、文は書き写されたものです。

焼け残った電車
折れ曲がった鉄塔



絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

竹味恭子



《非核平和・行事予定》

月	日	曜	時	内容	場所
9	23	水・休日	11:30	石川解放運動戦士合祀追悼集会	卯辰山・石川解放運動戦士之碑前
	25	金	16:00	金沢市民劇場例会「父と暮らせば」	石川県立音楽堂邦楽ホール
	26	土	19:00	金沢市民劇場例会「父と暮らせば」	野々市フォルテ大ホール
	26	土	18:30	核戦争を防止する石川医師の会「9・26国連核廃絶デー」 記念講演(西本多美子さん)	金沢市近江町交流プラザ4階
10	2日(金)~4日(日)			第27回アリスム写真展	金沢市民芸術村 アート工房
	6	火	12:00	核廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵Mza前
	7	水	18:00	れんこんシネマ劇場・映画「ジョン・ラーベ」	石川勤医協会館3階
	12	火・休日	14:00	金沢市革新懇・学習講演(須藤春夫さん)と総会	金沢市近江町交流プラザ4階
	31日(土)~11月1日(日)			2015年日本平和大会in富士山	静岡県御殿場市
11	4	水	18:00	れんこんシネマ劇場・映画「忘れられた島の闘い」(予定)	石川勤医協会館3階
	6	金	12:00	核廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵Mza前
	7日(土)~8日(日)			「平和の旅パート13」京都・航空自衛隊経ヶ岬分屯基地と伊根町	問い合わせ先・石川県平和委員会
	8	日	13:30	福島支援・原発ゼロ・志賀原発廃炉を求める石川県民集会 学習講演(安斎育郎さん)とパレード	金沢市文化ホール2階集会室
	9	水	12:00	核廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵Mza前
	29	日	14:00	石川県保険医協会原発・いのち・みらい講演会 講演(おしどりマコ・ケンさん)参加ご希望の方は保険医協会まで	金沢都ホテル5階

* 祝日は休日としています * れんこんシネマ劇場は民医連内平和委員会れんこんの会主催です

* 毎週金曜日 18:30 どいね原発アピール行動 金沢駅東口